

News Release

平成31年1月24日
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 N I T E (ナ イ ト)
 東 北 支 所

5年で2倍以上に！リチウムイオンバッテリー製品の事故 ～モバイルバッテリーは購入時にPSEマークを確認しましょう～ （東北版資料）

1. 事故の発生状況

2013年度から2017年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{*1}では、リチウムイオンバッテリーを搭載した製品（以下「LiB製品^{*3}」という。）の事故は582件^{*2}ありました

東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）では5年間に23件の事故が通知され、東北地方でも5年間で4倍に増加しております。

東北6県で発生した23件の事故のうち、軽傷事故が3件、拡大被害に至った事故が16件となっております。

表1 LiB製品の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2013年度	0	0	1	0	1	0	2
2014年度	0	0	2	0	1	1	4
2015年度	0	0	2	1	0	1	4
2016年度	0	1	0	3	0	1	5
2017年度	1	1	2	1	1	2	8
合 計	1	2	7	5	3	5	23

表2 LiB製品の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	1	0	0	2	0	0	3
拡大被害	0	2	6	3	3	2	16
製品破損	0	0	1	0	0	3	4
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	2	7	5	3	5	23

表3 LiB製品の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	1	1	0	1	3
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	1	3	2	1	3	10
い事故 製品に起因しない	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0	0	0
G1、G2: 原因不明のもの		0	0	1	2	1	1	5
H: 調査中のもの		1	1	2	0	1	0	5
合計		1	2	7	5	3	5	23

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※3) 本資料では持ち運び可能な外付けのリチウムイオンバッテリーのことを「モバイルバッテリー」、スマートフォンやノートパソコン用の組電池のことを「バッテリーパック」、バッテリーパックを構成する単電池を「セル」と呼びます。



2. 主な事故事例

○2017年11月12日（山形県、10代男性、拡大被害）

事故内容: ネット通販で購入した充電器から出火し、周辺を焼損した。

事故原因: バッテリーが内部短絡して異常発熱し、破裂したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。

○2016年11月30日（岩手県、年齢性別不明、拡大被害）

事故内容: 充電中のノートパソコンから異音がして発煙し、周辺を焼損した。

事故原因: バッテリーが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、内部短絡した原因の特定はできなかった。

○2015年6月26日（秋田県、年齢不明男性、軽傷）

事故内容: ノートパソコンを充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。

事故原因: 当該製品のバッテリーパックに使用している電池セルが内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。

○2015年3月4日（福島県、年齢性別不明、拡大被害）

事故内容: リチウム電池内蔵充電器及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 当該製品の内蔵リチウム電池の不具合により、内部短絡を生じて出火したものと推定される。

○2014年9月27日（宮城県、40代女性、拡大被害）

事故内容: ノートパソコンを充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 当該製品のバッテリーセルの封口部に製造上の不具合によって生じた導電性異物が付着し、充電を繰り返すうちに封口部の絶縁部が劣化し、バッテリーセルが内部短絡を起こして過熱し、火災に至ったものと推定される。

事業者は事故の再発防止を図るため、2014年よりプレスリリースや新聞社告等を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。

3. LiB 製品の事故の実験映像について

LiB 製品の事故の実験映像につきまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

PSEマークってご存知ですか？



← このマークです

電気用品安全法の対象外とされていたモバイルバッテリーが新たに規制対象になったんです。2019年2月以降に販売されるモバイルバッテリーはPSEマークが表示されていないものは技術基準への適合を確認されていないものなので、購入は止めてね！

リコール情報にも敏感にネ！！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

